

定額で必要な分を

入院患者の日用品セット好評

苦小牧東病院

は、患者本人や家族が購入して病院に持参するのが一般的。初めて入院する場合、看護師が家族に電話連絡して補充をそろえればよいか分からず、不必要な物まで買ってしまい荷物が多くなりがち。またケースも多い。

こうした問題を解決しようと、同病院は昨年11月からレンタルサービスを提供を開始。入院セット(1日480円)はバスタオル、フェースタオル、病衣(甚平、浴衣)、リハビリウエアを利用できるほか、ボックスティッシュ、洗顔フォーム、口腔ケアブラシ、入れ歯洗浄剤など全26点の日用品をそろえており、必要な物を自由に利用できる。おむつセットは毎日使用

小牧市新開町の女性(50)は「仕事中に急な入院の知らせがあり、その時は必要な物分からず困ったが、病院で必要な日用品を提供してもらえたので助かった」と話す。入院患者約260人の9割が入院セットとおむつセットを利用しているという。

秋山悦子看護部長は「家族が高齢の場合、日用品を補充するための来院が負担になることがある。おむつも病院側で用意した物の方が適切な排せつケアにつながることも少なくない」と指摘。「看護師らが質の高い日用品やおむつを選んでおり、定額で必要な日用品を好きなだけ利用できるのですね活用してほしい」と呼び掛けている。

苦小牧東病院(橋本洋一理事長)が、入院中に必要なさまざまな日用品を集めた「入院セット」と「おむつセット」の有料レンタルを始め、好評を得ている。入院時にたくさん日用品を用意する必要がなくなったほか、定額料金で必要なだけ利用できる。家族が来て補充しなくて済む。入院患者の9割が利用しているという。

入院時に必要なティッシュやコップ、歯ブラシ、バスタオル、紙おむつなどの日用品



定額料金でレンタルしている入院時の日用品

(同650円)、時々使用(同300円)で料金体系を分けた。入院患者一人ひとりのサイズや状態に合わせ、パンツタイプ、テープタイプ、尿取りパットを必要なだけ提供する。74歳の母親が同病院に入院しているという苦